



2021年11月12日

各位

会社名 第一生命ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 稲垣 精二
(コード番号：8750 東証第一部)
問合せ先 経営企画ユニット IRグループ
(TEL 050-3780-6930)

業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

2021年5月14日に公表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期連結業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期連結業績予想の修正

(1) 修正の内容

	経常収益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,643,000	479,000	279,000	251.30
今回発表予想 (B)	7,232,000	520,000	349,000	326.25
増減額 (B-A)	589,000	41,000	70,000	
増減率 (%)	8.9	8.6	25.1	
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	7,827,806	552,861	363,777	325.61

※グループ修正利益(注)は、従来予想(2,400億円程度)から2,700億円程度に増加する見込みです。

(注) グループ修正利益は、親会社株主に帰属する当期純利益から会計上の評価損益等を調整して算出した株主還元原資となる指標です。

(2) 修正の理由

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、第一生命保険における利息配当金等収入の増加、米プロテクティブ社における予想信用損失引当金の戻入の発生等により増加を見込みます。グループ修正利益も同様に増加を見込みます。

また、当社は、国内グループ各社の税務コスト適正化と税務ガバナンス向上を目的として、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）からグループ通算制度を導入する予定であり、その結果、2022年3月期末において、第一フロンティア生命保険等で繰延税金資産の計上が見込まれます。これにより、2022年3月期第4四半期会計期間において、親会社株主に帰属する当期純利益が約380億円増加することを見込みます。

また、経常収益については、良好な金融経済環境に伴う第一生命保険及び米プロテクティブ社における資産運用収益の増加等により増加を見込みます。

2. 2022年3月期期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想		77円	77円
今回発表予想		80円	80円
当期実績	0円		
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	0円	62円	62円

(2) 修正の理由

連結業績予想の修正を踏まえ、2022年3月期の1株当たり配当金の予想を、前回発表の77円から3円増額し、80円とします。

(注) 上記の各数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上